



# とみくじマラソン大会 大変更

黒津崎

## お祭り広場

2018年2月20日発行  
とみくじマラソン新聞

### 春号

とみくじマラソン大会実行委員会は、二月五日に運営委員会を開き、大会会場や開催日変更を決めた。

日本陸連の五年間の公認期間が今年の五月末で切れることから、新たに向こう五年間の公認申請が迫っていた。

会議では、これまで開催してきた国東総合グラウンド（国東町浜崎）から黒津崎・お祭り広場（国東町小原）に会場を移し開催することが決まった。

マラソン大会は雨天決行で開催するため路上からスタート・フィニッシュできることが求められ、ウィラくにさぎの進入道路は最適な場所であること。また、三千人の参加者を受け入れる駐車場が付近にあること、少なくとも千台程度の駐車スペースは必要で、遠

くの駐車場は送迎バスによる輸送を計画するなどしている。また、ランナーからは「坂の多い厳しい難コース」と言われた山登り部分を見直し、海岸部の平坦な部分を取り入れたコースに変更するも検討された。

運営委員会では今後コースの変更に伴う道路通行止めなど交通規制について、国東警察署、国東土木事務所や関係事業所などと協議を重ねていくことにしている。

大分県内でも類を見ないほど多くの市民ランナーであふれ、また県外からの参加者が四割を超えるという全国に誇れる大会に成長したとみくじマラソン大会。ランナーも運転者も、また応援する一般市民もみんなが共存できる大会に育てていきたい。

#### 11月11日（第2日曜日）開催

大分陸連はこのほど「大分車いすマラソン大会」が11月18日に開催すると発表した。これにより、とみくじマラソン大会実行委員会では、緊急に運営委員会を開催し、「車いすマラソン」との同日開催を避けるため、開催日を1週間繰り上げ、11月11日（日）を開催日に決定した。

とみくじマラソン実行委員会の堤康二郎大会会長は「どちらの大会も日本陸連の公認大会であり、審判員が県内各地から大量の動員となるため、仕方がない処置です。早めに広報を徹底し、ランナーにご迷惑をお掛けしないように周知徹底を図りたい。」と話している。

# 案山子も応援

# ボランティアありがとう



○二度目のハーフ参加で、昨年は肉離れにより、12キロあたりから歩いたので、今年はゴールまで走りきることを目標にしました。タイムは年齢を感じるものでしたが、歩かずにゴールできたことで満足で

す。今年も案山子の出来栄え(特にブルゾンちえみやトランプ大統領)に感心しながら笑顔をもらいました。(オシヤマリさんのレポート)  
☆☆☆☆  
○一番きつい上り坂で、た

くさんの案山子が出迎えてくれました(ブルゾンちえみは動いてた!)辛いところ、くすつと笑えて元気もええました。帰りのシャトルバスは空港に寄ってくれたので、足湯に2回も入る時間ができました。参加賞の宝くじは夢がありますね(ハズレたけど)、マラソンカレンダーも来年使おうと思います。プログラムに載っていた各自のコメント(抱負)をスタート時に読み上げてくれるのもよかったです。寒かったので、ボランティアのみなさまが風邪をひいていないとよいのですが。前のりして、アフリカンサファリと別府温泉も楽しみました。大分最高!(ななかむさんのレポート)  
☆☆☆☆  
○遠くからの参加でしたが来てよかったです。ローカルの大会なので沿道の応援が少ないのは仕方ないことです。しかし、そんなことは全く感じないほどのコ

ースの美しさとスタッフの方々の懸命の応援してくださる姿にとても元気をもらいました。特に中学生のボランティアとして懸命に働く姿はとてもステキでした。こういう姿が我々選手たちの士気を上げてくれるのです。また来年走りに来ます。(とらぞうさんのレポート)  
☆☆☆☆  
○福岡マラソンに落選し、何かないものか探していたトコロで参加しました。コースマップから高低差は想定内でしたが、とにかく風が凄くそっちに心が折れそ

うになりました。ですがその寒空の中、お爺ちゃんお婆ちゃん、そして学生ボランティアの方々も応援されておりにとても励まされました。帰りは別府で温泉に入り疲れも癒せましたし、福岡からも近いのでまた来年も参加したいと思えます(福岡マラソンに落選したのですが。笑)  
☆☆☆☆  
○この大会はフルマラソンで3時間半切れたら、別大に参加できる大会です。みなさん、走ることに真摯に

向き合い、歩く人は、あまり見ません。そんな大会に初めて参加して感じたことは、まずスタッフの方々の動きのよさ、走る人のことを考えて、運営されていて、スムーズに気持ちよく走れました!沿道の応援も気温の低い寒いなか、おばあちゃんおじいちゃんが、頑張れの声援。ありがとうございました。大会全体を通して、よかったです。宿の食事もよかったです!美味しかったです。(ミッキーさんのレポート)  
☆☆☆☆  
○癌が見つかり来月手術の予定で、当日まで出場を迷いましたが、制限時間も長いし思い出作りのため思い切って出場しました。上りの向かい風には苦しめられましたが、案山子を見れば、沿道とエイドの皆さんからの応援を心に刻みながら走り(歩き)何とかゴールにたどり着きました。  
いつもは早くゴールが来いと願うのに、今回は残りの距離が少なくなるに連れて寂しくなる不思議な思いを経験しました。おそらく人生最後のフル。自己ベストからは1時間以上遅かったです。いい思い出になりました。関係者の皆さん、沿道で応援してくださいました! (けんちゃんレポート)

## 都道府県別の参加状況

都道府県	男性	女性	合計
北海道	4	2	6
青森県	2		2
岩手県	2		2
福島県	1		1
茨城県	3	1	4
栃木県	1		1
埼玉県	9	3	12
千葉県	15	2	17
東京都	31	11	42
神奈川県	18	4	22
長野県	2	1	3
山梨県	1		1
静岡県	2		2
愛知県	4	2	6
三重県	2		2
滋賀県	1	1	2
京都府	5		5
大阪府	23	3	26
兵庫県	5	1	6
奈良県	3		3
島根県	2	1	3
岡山県	1		1
広島県	11	1	12
山口県	28	9	37
香川県	4		4
愛媛県	9	7	16
高知県	3		3
福岡県	562	199	761
佐賀県	49	21	70
長崎県	27	4	31
熊本県	93	22	115
大分県	1,228	503	1,731
宮崎県	29	9	38
鹿児島県	11	6	17
宮崎県	3		3
合計	2,194	813	3,007

## 県外から1,271人の参加者



向き合い、歩く人は、あまり見ません。そんな大会に初めて参加して感じたことは、まずスタッフの方々の動きのよさ、走る人のことを考えて、運営されていて、スムーズに気持ちよく走れました!沿道の応援も気温の低い寒いなか、おばあちゃんおじいちゃんが、頑張れの声援。ありがとうございました。大会全体を通して、よかったです。宿の食事もよかったです!美味しかったです。(ミッキーさんのレポート)